

公益社団法人日本技術士会 CPD行事実施報告書

開始日時	平成27年7月20日(月)	15時40分
終了日時	平成27年7月20日(月)	16時40分
名称	H27年度年次大会・特別講演会(第25回CPD)	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	ホテルプラザ菜の花(千葉市中央区長洲1-8-1)	
行事内容	特別講演会(CPD) テーマ:「次世代の自動車とそれを巻き巻く技術」 講師:景山一郎氏(工学博士) 日本大学 生産工学部教授、自動車工学リサーチ・センター長	
参加人数	67名(内、招待者及び企業10名含む)	

第25回CPDは、千葉県支部27年度年次大会の特別講演として実施した。

人にも環境にも優しい公共交通や、自動車と連携出来る高い利便性・柔軟性、中・近距離移動用のコンパクトな新しい個人の乗り物など、講師が現在研究中の各種技術を、トヨタ自動車やミュンヘン工科大学での事例など、動画を交えてご紹介していただいた。

自動車の現状とそれを巻き巻く環境では自動車生産にかかわる動きや使用状況から見る現状について分かり易い解説があった。

注目すべき自動車技術ではハイブリッド、原動機のダウンサイジング、車両の適正配置・交通システムの最適化、知能化・情報化技術などの話があった。

これからのPMVを普及させるためには、長期的にユーザに受け入れられる要因の検討が必要。低燃費、省スペース、安価なだけでは発展が期待できない。車を所有するという満足感のある車両(乗って楽しい車両)が求められている。

次世代に向け展望として「もう一つの可能性」高齢者、身障者への配慮、事故減少などを解説していただいた。高度運転支援システム・自動走行システムに向けた検討なども必要であると締め括った。

